

田 原 本 町 商 工 会

機関名	田原本町商工会		
所在地	奈良県磯城郡田原本町千代356番地17		
電話番号	07443-2-2552		
地域概要	(1)管内人口 3万3千人	(2)管内商店街数 1 商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1 商店街	(2)メンバー数 72 商店	
	(3)空店舗率 11.1%	(4)大型店空き店舗 0 店	
商店街の類型	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

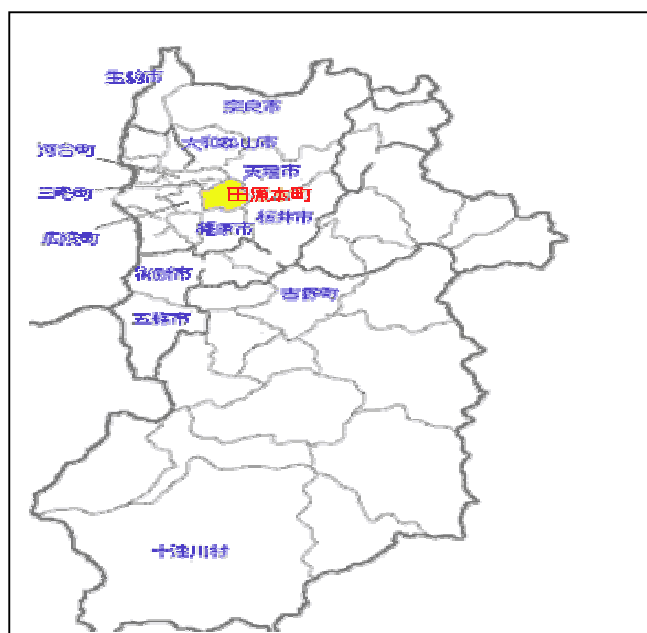
平成12年度 活性化対策事業 イベント、講演会、フリーマーケット
総事業費 3,222千円

【事業実施内容】

1. 背景

田原本町では、大正15年に近鉄線が開通し、小売業は駅周辺に移り、昭和40年代まで栄えたが、50年代に入り国道24号線沿いに大型店、専門店の相次ぐ進出と、モータリゼーションの進展等により、町内中心部の商店街では、消費者ニーズへの対応の遅れなどから、空き店舗の発生と活力低下がみられる。これは一過性のものではなく、今後も続くものと考えられる。

そうした現状を打破すべく、商店街ではソフト事業を実施するなど活性化に向けた積極的な取り組みとして、イベントを実施したり、スタンプカードを導入してきた。しかしながら、アピール度も低いため、数年前に町の歴史的な資源を発掘することとした。田原本町では、岡山県に残る孝霊天皇の都が田原本町に比定されていることから、「桃太郎のふるさと」を提唱し、「桃太郎生誕の地」ということをコンセプトに、既存店と共に空き店舗を活用し新しいニーズを開拓、街の雰囲気をも少しでも変化を与えて、集客力を強め、商業の振興と街の活性化に寄与することを目的とし事業を実施した。



田原本町の位置

2. 事業内容

「桃太郎生誕の地」ということをメインテーマに、環境に優しい商店街としての具体的な取り組みのための様々な事業を行った。

(1) キャラクターグッズ(買物袋)とPR看板の作成

横断幕の作成「ごみ減量とリサイクル推進のまち」; 駅周辺商店街2ヶ所に掲げる。

(2) 環境に優しい買物袋の配布、キャンペーン

過剰包装をなくしてゴミの減量化を進めようと、桃太郎イラストの入った買物袋を作成、買物袋はナイロン生地とジーンズ地の2種類「かけがいのない地球だから、ふるさとだから」の文字と桃太郎のイラストを入れ、ゴミ減量と合わせ「桃太郎のふるさと」をアピールした。

合計1,500枚を準備、まず歳末大売出しで配布した他、町生活学校受講生、初戎祭の神社境内、大型店でもPRを行なった。

また、ゴミの減量化をテーマにした行政、消費者、商業者との懇談会も行い、環境問題への取り組みを一層強めていこうと意見を交わし、今後への取り組みを考えることにした。

(3) 講演会

「桃太郎伝説のもつ意義」あるいは「地域の歴史文化等の特色を生かした商店街活性化対策」についての講演会(講師:経営コンサルタント)を行なった。

(4) 十六市、フリーマーケット、イベント事業の開催

日時:平成12年10月22日(日) 10:00~16:00

場所:商店街内(商店街、空き店舗、公園、寺)を会場として「十六市」を開催

- ・生活博物館(旧食堂を利用)
- ・駄菓子屋さん(旧本屋を利用)
- ・桃太郎亭(旧食堂を利用)
- ・オープンカフェ(銀行駐車場を利用)
- ・フリーマーケット、朝市、抽選会、レトロバイク展示(浄照寺境内)
- ・スタンプラリー



商店街への横断幕の設置



お買物袋



ゴミ減量とリサイクル問題懇談会

【 効 果 】

これまで商店街では日曜日にはシャッターを降ろしている店が大部分であったが、10月22日には一部で店を開けており、中にはイベントにふさわしい小物雑貨を飾っている店もあった。イベントが商店街間で行なわれた1回目であるから、店舗サイドでも受け入れは十分であったとは言えないが、回を重ねるにつれて商店街の関心は高まってくるのではないかと期待される。

一方、来街者の状況であるが、当日は好天にも恵まれて午前中から多くの人達がイベント会場に来ていただけた。会場が広い範囲に点在しているため、来街者の数をカウントすることはできなかったが、ここ十数年来、商店街にはなかった賑わいが街中に戻ってきたことは事実である。

街の歴史を掘り起こし、「桃太郎」という万人に親しみのあるキャラクターを用いたイベントを実施したことで、地域住民の街づくりに対する関心や地域への愛着を高めることや街の特徴づけにつながった。また、「環境問題」とのジョイントによりより身近な課題として意識づけることにも成功した。



十六市



十六市（レトロ写真館）

【今後の展開・課題】

今後、町で中心市街地活性化基本計画の策定を考えているが、そのなかで商工会として、今回の事業成果を踏まえ、まちづくり、商業振興、観光客の取り込み等も視野にいれ、TMOとなり活性化のための事業実施を行ってゆく予定である。スタンプラリーに参加した人に対して行なったアンケート結果からは、参加者はかなり好意的に今回のイベントをみているのではないと思われる。ただ残念なことに、受け入れ側の商店サイドにもうひとつ盛り上がりを欠いていたきらいがある。次の催事では商店街も一段と盛り上がりを見せるように事前の働きかけをする必要があるのかもしれない。

【 教 訓 】

第1回目の十六市の開催を反省すると、次の点があげられる。

1.十六市の企画について委員会は結成されたが、催事の内容について、つっこんで検討する時間がなかった。

